

教育センターだより

第449号
令和4年1月28日発行
福岡市教育センター
(授業力向上支援センター)
TEL 822-2875
発行者 福田 大二郎
編集者 石井 洋安

新しい年を迎えました。先生方におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

本年も教育センターの諸事業にご理解とご協力をお願いいたします。

さて、今年の干支は「寅」です。「寅」という字は「演」からきており、「演じる=人の前に立つ」という意味や「演」と同じ読みの「延」から「延ばす」という意味があり、「寅年」は芽を出したものが「成長していく」「象徴が生まれる」年と言われるようです。先生方が児童生徒の成長に向けて撒かれた様々な種が、春には芽を出し、大きく飛躍してくれることを心より願っております。

令和3年度校長、人権教育担当者研修

1月21日・24日・26日・27日に校長、人権教育担当者研修を実施しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンラインで開催しました。今年度は、校長・人権教育担当者のグループに分かれて協議を行うことで、それぞれの役割を明確にし、グループで各校での取組について、活発な意見交流が行われました。

研修後の感想では、「オンラインではあったが、少人数の交流を通しての他校の取組や講師の先生の話が参考になった」「初めての人権教育担当だったが、他校の先生方の取組などがとても参考になった」などの意見が多くあり、受講者にとって充実した研修となったのではないかと思います。研修に向け、事前の準備そして当日のご協力ありがとうございました。

今後も、校長先生のリーダーシップのもと、推進体制の要である人権教育担当者を中心に、各校の人権教育の一層の充実を図っていただきますようお願いいたします。



初任者研修3年次

令和3年度初任者研修3年次の修了式を、1月20日(木)に行いました。本来であれば、集合対面研修の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンライン研修に変更して実施しました。

研修の最後には教育センター福田所長より、3年次教諭に向けて3年間の成長と今後の期待を込めて次のような言葉を送りました。「これまで、この状況の中、子どもたちの学びを止めることなく、学校現場で御尽力いただいていることを感謝申し上げます。オンライン授業や学校行事の見直しなど苦勞が絶えない日々であると思いますが、この苦勞は、決してみなさんにとってマイナスだけではなく、教員人生における経験としてプラスの面があります。大変だと思いますが、しっかりこの危機に対応し、子どもたちのために頑張ってくださいと思います」。

修了式を終えた先生の感想からは、「初心を忘れることなく今後も研究などに励んでいきたい」「来年度は4年目としてさらに成長していきたい」など、誠実で、とても前向きな感想が多くありました。また、「感謝の気持ちを伝えようと子どもたちに教えているので、私もこれまで支えて下さった方に、感謝を伝えていきたい」や「この状況の中、このように研修をしていただき、ありがとうございました」と感謝の気持ちを伝えてくださる先生方も多くいらっしゃいました。

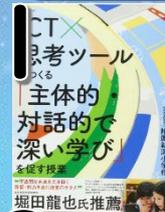
教師は、子どもたちの未来に関わる尊い仕事であります。

これからも、教育の本質を見つめ、素直で謙虚な姿勢を忘れず、職務に励んで下さい。

みなさんの益々の成長とご活躍、そして人生が充実したものとなりますよう、心より願っております。



授業力向上支援センター 図書貸出数ランキング Best3 (R3. 4~12)



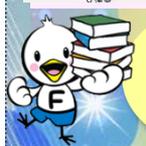
思考ツールとICTを活用した、学びを促す授業の実践事例集です。今後全国の現場に導入が進むタブレット端末を使った授業例も紹介し、付録として、アナログ(紙)の思考ツール集、その使い方シート、ツール活用振り返りシート、ダウンロードできるデジタル思考ツールリンク集等も収録しています。



子ども達は時として、「決断」をせまられる。その時に、親と子で迷い、考え、試行錯誤して最善の方法を見つけていく。その段階で子どもが納得しているか否か、ここに大きな意味があります。本書では、子ども達が決断してきた場面を、様々なケースを交えて紹介しています。



小单元を対象に問題解決的な学習を展開するとき、学習問題をつくることは問題解決に当たってまさに入口です。入り口で子どもたちの問題意識を高め、問題解決の方向性を定めなければ、社会科の問題解決的な学習は成立しません。本書は、特に学習問題をつくる場面に焦点を当てて、その指導のあり方について実践的に論じたものです。



本メールサービスもご利用ください!

その他上位

